

馬堀小学校保護者説明会 会議録

1 日 時 令和6年(2024年)7月31日(水)10:00~10:40

2 場 所 馬堀小学校 図書室

3 参加者 2名

4 事務局等	教育政策課 課長	飯田 達也
	教育政策課 主査	大堀 圭輔
	教育政策課 主任	志村 洸哉
	教育政策課 担当者	松本 勇人

5 議事内容

○飯田教育政策課長(事務局)

定刻となりましたので、馬堀小学校保護者説明会を始めます。

1月11日の統合決定後、通学の安全対策について、詳細をご説明できずにおりまして、皆さまには、不安な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。

本日は、主に通学の安全対策について、ご説明をしたいと思います。

また、6月16日付けで、走水小学校PTA、町内会、想う会から要望をいただいておりますので、その回答も併せて、ご説明します。

ご説明した後にご意見等を伺いたいと思いますので、よろしくお願ひします。

ご説明の前に確認をしますが、会議録作成のために録音します。

また、会議録等はホームページにて公表します。

それでは、資料のご説明をします。

○大堀教育政策課主査(事務局)

それでは資料のご説明をします。

資料の4ページをお開きください。

通学の安全対策についての概要です。

1について、京急バスの通学定期券代の全額助成を行います。

助成対象者は、現走水小学校区の全児童と1・2年生及び特別支援学級の保護者のうち、付き添いを希望する方です。

助成期間は、統合後12年間、令和7年度から令和18年度です。

なお、市内には、すでに通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後、全市的な遠距離通学に対する方策を検討します。

助成期間終了後は、この方策を適用する予定です。

2のバス停における児童の見守りについては、バス停に見守りを配置し、児童が安全にバスを待てるようにします。

3のバス車内における対策については、バス車内で痴漢等の対策や抑止力のため、児童への防犯ブザーを配布します。

次に5ページをご覧ください。

路線バスを利用する理由についてです。

本市においては、京急バスの交通網が整備されており、長きに渡り本市における路線バスの安全で安定した運行実績があることから、児童が安全に通学できると考えています。

京急バスの運転手は、事故や災害時等の訓練を行っているため、有事に適切な対応が見込まれ、児童が毎日利用するための安全と安心を担保できると考えています。

スクールバスの場合、下校のバス時間が決まっていることから、児童に個別の指導を行い下校を遅らせることや、例えば、委員会活動、総合的学習の発表準備、球技大会の練習など、児童の自発的な活動が制約を受ける場合があります。

また、路線バスであれば乗り遅れや早退遅刻等にも対応できると考えています。

今後も安定的で持続可能な仕組みとするためには、公共交通機関である京急バスが運営する路線バスを活用することが望ましいと考えています。

次に7ページをお開きください。

登校時の対応についてご説明します。

続けて8ページをお開きください。

こちらの表は、バス停ごとの利用児童数の想定です。

居住地からの距離で、利用するバス停を想定しています。

ラビスタ、南谷戸、走水神社、走水上町、走水小学校、伊勢町の6か所が登校時に利用するバス停と考えられます。

現状では、ラビスタは20人、南谷戸は1人、走水上町は1人、走水小学校は1人、伊勢町は3人の想定です。

地図上で振り分けていますので、ラビスタと南谷戸等は分散される可能性もあります。

次に9ページをご覧ください。

登校の対応について、現行では、8時20分までに馬堀小学校に登校するため、8時10分頃までに馬堀中学のバス停に到着するバスが必要となります。

これは、令和6年度の日課ベースです。

バスダイヤ1本の時間変更を含めて、2本のバスが登校に利用できるバスとと思われます。

バス定員は70人ですが、乗車可能人数は50人程度で想定しています。

次に10ページをお開きください。

登校時のバスの時刻表です。

京急バスと調整の結果、登校時間の馬堀中学8時17分着を8時12分着に時間変更していただきますので、7時52分着と8時12分着の2本分で登校する想定をしています。

注釈について、増便時刻案は2024年6月現在のダイヤを基に作成したもので、この時間で確定したものではありません。

今後、ダイヤ改正が行われる場合には、この案をベースに京急バスと協議を行います。

よって、時間設定は今後、変更される場合もあります。

次に11ページをお開きください。

下校時の対応についてです。

続けて、12 ページをお開きください。

馬堀小学校から3校時下校は11時45分頃、4校時下校は13時15分頃、5校時下校は14時50分頃、6校時下校は15時30分頃に利用できるバスが必要となります。

バス定員は70人ですが、乗車可能数は50人程度で想定しています。

馬堀中学バス停で待っている間の交通整理や、安全確保のため、見守り人を配置します。

下校時は、学年ごと等で下校時間が分散されるため、既存のバスダイヤで対応が可能と想定しています。

13 ページをご覧ください。

それぞれの下校時刻に合わせて、既存のダイヤで対応が可能であると考えています。

14 ページをお開きください。

馬堀中学バス停の状況です。

こちらに並んでいただき、見守りの方を配置して整列等を行っていただきます。

15 ページをご覧ください。

走水小学校のPTAから、「通学の安全確保に関する要望書」を受け取っていますので、その回答です。

16 ページをご覧ください。

スクールバスの要望に関してです。

問1、スクールバスの導入について。

答1、京急バスを利用していただくことから、スクールバスの運行は行いません。

本市においては、京急バスの交通網が整備されており、長きに渡り本市における路線バスの安全で安定した運行実績があり、児童が毎日利用するための安全と安心を担保でき、災害時等においても適切に対応することができることが理由です。

今後も安定的で持続可能な仕組みとするためには、公共交通機関である京急バスが運営する路線バスを活用することが望ましいと考えています。

17 ページをご覧ください。

路線バスになった場合のご要望です。

問1、登校時、全児童が席に座って乗車可能な増便について。

答1、現在のバスの利用状況を踏まえて、1本で全児童が乗り切れると見込んでいますが、バスダイヤの変更により、登校時2本のバスが利用できるようです。

路線バスを利用していただくため、全員が座って通学することは困難と考えていますが、通学における安全教育について、学校と連携して検討します。

問2、下校時間ごとの増便について。

答2、下校時は学年ごとに下校時間が異なり分散されることから、現在のダイヤで乗り切れると想定しています。

18 ページをご覧ください。

問3、バス位置情報の電光掲示板について。

答3、電光掲示板の設置については、現在のバス停に電気が通っていないため、設置は困難と思われます。

なお、先に開催した合同学校運営協議会において、設置不可であった場合はスマートフォン等で確認できる京急バス接近情報でバスの状況を確認し、学校から児童に周知してい

ただくといった代案も考えられるというご意見がありましたので、今後検討したいと思いをします。

19 ページをお開きください。

問4、バス停の屋根の設置について。

答4、バス停の屋根設置には、原則歩道幅が最低でも2m確保できることが目安になり、歩道の幅員が確保できないことから、設置は困難と思われます。

なお、合同学校運営協議会において、設置不可であった場合には学校の昇降口等、屋根がある場所でバスの時間まで待機させるといった代替案が考えられるというご意見がありましたので、検討したいと思いをします。

20 ページをご覧ください。

問5、見守りボランティア、信号機設置場所について。

答5、混雑が想定される馬堀中学バス停付近の見守りについては、教育委員会で人員の配置を予定しています。

信号機の設置場所については、伊勢町の横断歩道、走水神社の横断歩道に設置のご要望をいただいています。

警察に確認したところ、現地確認や検討をした結果、設置は不可という回答をいただいています。

なお、合同学校運営協議会において、引き続き信号設置に向けた要請をお願いする旨のご意見がありましたので、働きかけたいと思いをします。

21 ページをご覧ください。

問6、バス利用者が増えた際、路線バス増便だけでは対策にならないことについて。

答6、バス混雑が予想される際には、児童が通学にバスを利用している状況も考慮し、イベント主催者等と調整、検討してまいります。

問7、通学費用の全額支給について。

答7、通学費用については、現在、走水小学校区から馬堀小へ通学している児童も含めて、全額支給します。

22 ページをお開きください。

問8、歩いて通学する可能性があることから、防犯カメラの設置、ガードレールの設置、樹木の伐採について。

答8、従来から歩いて通学することは危険というご意見をいただいたことから、通学における安全対策として、全額助成をした上で路線バスを利用して通学していただくことを想定しています。

道路等への防犯カメラの設置は、町内会等が設置する場合に補助を行っていますので、そちらをご活用いただければと思いをします。

ガードレール、樹木伐採は具体的な場所を伺った後、対応を検討します。

問9、強風時、歩道に海水がしぶきをあげることについて。

答9、こちらについても歩いて通学することは危険というご意見をいただいたことから、路線バスで通学していただくことを想定しています。

なお、港湾部に確認したところ、現時点では、越波対策の計画はございません。

23 ページをご覧ください。

その他です。

問、教員へ通学手段についてのアンケート実施について。

答、検討に当たっては両校の学校長とは綿密に連携を図って方策を検討してまいりますので、教員へのアンケートは実施いたしません。

26 ページをご覧ください。

以前の保護者説明会でご要望があった、現在走水小学校区からバス等を使って馬堀小学校へ通学している方への通学に関するアンケート結果です。

ご意見と教育委員会の見解をお伝えします。

走水小学校区から通っている児童はバスで通学しており、定期代が負担と感じている、というご意見です。

教育委員会の見解としては、通学費用については、現在、走水小学校区から馬堀小へ通学している児童も含めて、全額支給します。

横断歩道に信号がないため、危険を感じる。車もなかなかとまってくれない、というご意見です。

教育委員会の見解としては、警察に確認したところ、現地確認や検討をした結果、設置は不可という回答をいただいています。

27 ページをご覧ください。

通学に適したバスの本数が少ない、朝だけでも通学用のバスを出して頂けるとありがたい、現走水小児童が馬堀小に通うようになった時、バス停や車内の混雑が心配、バスの本数が増えれば多少緩和されると思う、というご意見です。

教育委員会の見解としては、京急バスと調整の結果、登校時間帯 1 本の時間変更をしていただけることとなりました。

その結果、登校に馬堀中学バス停に到着するバスが 2 本利用できると思われます。

下校時は学年ごとに下校時間が異なり分散されることから、現在のダイヤで対応できると想定しています。

帰宅時のバスの本数が少ないことから歩いて帰宅する場合があります、交通事故や事件が心配、というご意見です。

教育委員会の見解としては、歩いて通学することは危険というご意見をいただいたことから、通学における安全対策として、全額助成をした上で路線バスを利用して通学していただくことを想定しています。

28 ページをご覧ください。

馬堀中学のバス停に屋根はないため、暑い時期は熱中症が心配、というご意見です。

教育委員会の見解としては、バス停の屋根設置には、原則歩道幅が最低でも 2 m 確保できることが目安になり、歩道の幅員が確保できないことから、設置は困難と思われま

す。帰りのバスの乗り間違いを防ぐため、馬堀中学のバス停に見守りの方がいると良い、というご意見です。

教育委員会の見解としては、混雑が想定されるバス停付近には見守りを配置しますので、バス停での待機、乗車を安全に行えるようにします。

登校は中学生がいて降りる場所が同じなので、降り忘れとかの不安はない、下校は、横須賀美術館でジブリ展をやっていた際は人が多く、バスが満員に近い状態で子どもを 1 人乗せるのはいろいろな人がいるので抵抗がある、というご意見です。

教育委員会の見解としては、下校時は学年ごとに下校時間が異なり分散されることか

ら、現在のダイヤで対応できると想定していますが、イベント等によりバス混雑が予想される際には、児童が通学にバスを利用している状況も考慮し、イベント主催者等と相談してまいります。

29 ページをご覧ください。

災害発生時の対応についてです。

30 ページ以降にその内容が記載されています。

保護者説明会においても、災害等があった際の対応がどうなるのか、今までよりも通学距離が遠くなることからご心配がありました。

資料には、全教職員が持っている「指導の必携」というものから抜粋した内容が記載されており、基本的には記載の内容で各学校が対応することです。

例えば、震災時の対応については 32 ページにあります。

登下校時や放課後で学校内にいる場合であれば、まず安全確保を行います。

児童生徒の保護と安否確認を行い、被害状況の確認、災害情報の収集を行います。

その後、校内や通学路の巡視及び自宅確認をする教職員に別れます。

そして、被害状況を市教委へ報告、保護者へ連絡、保護者へ引き渡しという対応です。

保護者と連絡がつかない場合は、学校で保護します。

災害時の対応については、以上です。

最後に、学校名についてです。

36 ページをご覧ください。

経過としては、4月26日～5月31日の期間、学校名の応募を実施し、184件の申し込み、71の学校名候補の応募があった中で、合同学校運営協議会で、学校名候補が17候補にまで絞っていただきました。

今後、8月8日の教育委員会8月定例会において、学校名が1つに決定します。

決定された内容に基づいて、横須賀市議会9月定例議会において学校設置条例の改正を行う予定です。

37 ページについては、合同学校運営協議会委員において絞っていただいた17候補について、保護者の皆さまにもご紹介したいと思います。

以上で資料の説明を終わります。

続いて、走水小学校の保護者説明会におけるご意見を抜粋して紹介します。

まず、見守りについてはどのような人が配置されるのか、保護者なのかボランティアなのか、地域のボランティアとは別なのかというご意見です。

こちらについては、地域のボランティアとは別に教育委員会で人を配置しますので、業者委託のような形になると思います。

次に、スクールバスが出なかったことは残念というご意見です。

出ないのであれば、納得できるような対策を検討してほしい、路線バスを使うと座れなくて危険なので検討してほしいということでした。

また、バス代の助成について、4月までに定期券は手に入るのかというご意見です。

引き換えも困難なので、半年や一年の定期券にして、毎月引き換えに行かなくて済むようにしてほしいということです。

こちらについては、6ヶ月の定期券に引き換えられるようにしたいと考えています。

現状、確定はしておらず京急バスと調整が必要ですが、お金を支給する形ではなく、教

育委員会から証明書を発行し、その証明書を京急バスの営業所に持って行っていただき、それを定期券に引き換えていただく想定です。

確定しましたら、走水地域の方へ周知したいと考えています。

次に、信号機が付かない場合はどうなるのか、見守りをする場合でも地域のボランティア頼みにはしないでほしい、というご意見です。

こちらについては、信号機が付かなかった場合の対策は改めて検討していかなければいけないと考えています。

その他のご要望としては、幼稚園等のようにアプリ等の入退室システムで、保護者にメールが届くようなものがないかというご要望をいただいていますので、一旦お預かりしました。

以上が、先日開催した走水小学校保護者説明会のご意見、ご要望です。

○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、ご質問やご意見があればお願いします。

○参加者

見守りの人は永続的に付くのでしょうか。

それとも、支給する12年を目途に終わる予定なのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

バスの助成については12年という期間で区切っていますが、見守りについては特に期限を区切っているわけではありません。

当面、慣れるまでと考えていますので、12年ということではないです。

○参加者

バスが事故などで止まってしまった場合など、下校時であればみんなで学校に戻ることもできると思いますが、登校時はどのようになるのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのような事故の場合には、遅刻扱いにはならないと考えています。

○参加者

一年生などはどうして良いか分からないと思います。

何においてもそうですが、防災訓練等を学校でしていただくと親が指導するよりも覚えているので、走水の見守りだけでなく学校の教育活動の中で、交通安全教室のような形でバスの乗り方やトラブル時の対応といったカリキュラムができるようになると嬉しいと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

両校の校長先生と話をしている中で、馬堀小学校に走水小学校から来る練習などをしていっていると伺っています。

○塩野谷馬堀小学校長

走水小学校の児童が交流で馬堀小学校に来る際には、定期券を模したのものを使った練習などを行っています。

児童の実態に合わせて必要な学習ができればと思っています。

○参加者

走水にお子さんが通っている知り合いの保護者の方から、走水地域の子が遅れた場合に、授業の開始を待つらしいと伺いました。

○大堀教育政策課主査（事務局）

学校において今後検討していくことになると思います。

○塩野谷馬堀小学校長

検討したいと思います。

○参加者

子どもが走水から馬堀小学校へ通っています。

バスが遅れた場合に待ついただけるのはありがたいと思いますが、大幅に遅れてしまう可能性もあると思います。

そういった場合、どこまで待つのか決めておいても良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

一定のルールや基準が作れるか分かりませんが、そういった対応も含めて検討をお願いできればと思います。

○参加者

通学の安全面について、走水に帰ってきたとき信号が少なく不安だというのは前から思っていたので、見守りの方を配置していただけるということは考えていただけで良かったと思います。

帰りのバスの本数が少ないというのは確かにあって、待つのが面倒だと言って歩いて帰ってきたこともあります。

走水の児童が増えるとバス停で待つ子どもたちも増えるので、バス停で話をしたりすればつまらないから歩いて帰るようなことは減るのではないかと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

信号機が付かない場合の見守りという話はまだ確定しておらず、代替案として何かあるか考えたときの想定です。

今後の検討になりますので、ご了承いただければと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

ちなみに、走水から馬堀小学校に通っていて通学時のバス遅れることはありますか。
下校時のバスが遅れているのは確認しているのですが、朝はどうでしょうか。

○参加者

行きはほぼ時間通りに来ます。
遅れて困ったということはありません。

○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、説明会を終了します。
ありがとうございました。